

ワイン消費に関する アンケート結果

2018.01.26

一般社団法人 信州アルプス大学校
ちえてらすコンサルティング



アンケートについて

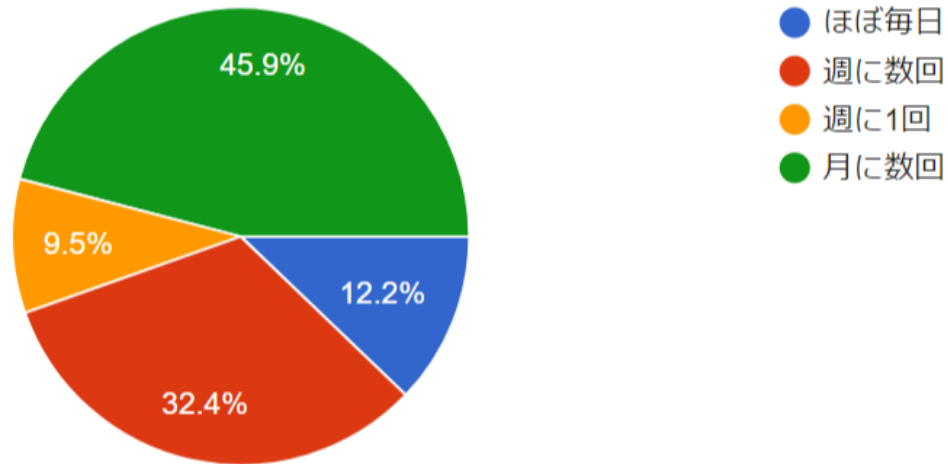
- 対象 信州アルプス大学登録学生
- 期間 2018.01.07～01.17
- アンケート方法 オンライン回答
- 回答数 74件

比較データとして東京国税局「ワインに関するアンケート」集計結果
<https://www.nta.go.jp/tokyo/shiraberu/sake/topic/ques/topic-total03.htm>
を参考にした。



Q1 ワインを飲む頻度はどれくらいですか？

74 件の回答

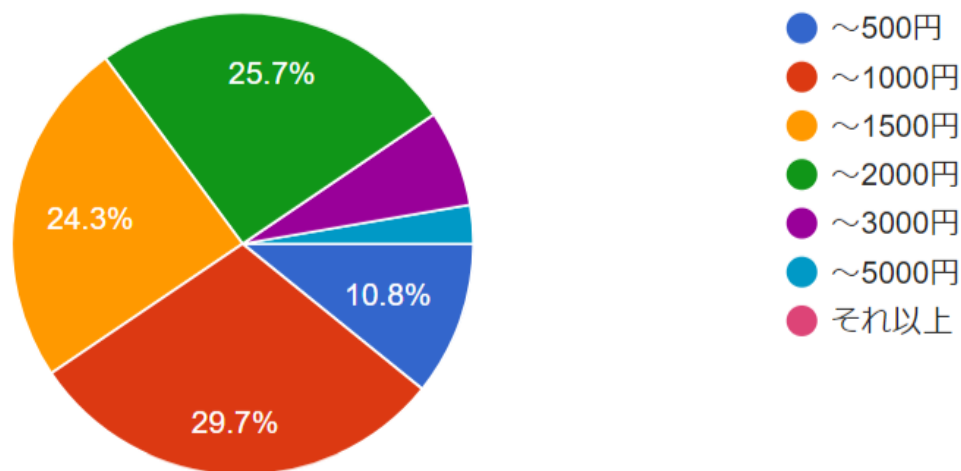


国税庁調査と同様の傾向。
月に数回以上はワインを飲用している。
毎日・週に数回で**45%**



Q2 普段どれくらいの価格帯のワイン（720ml）を購入されることが多いですか？

74件の回答



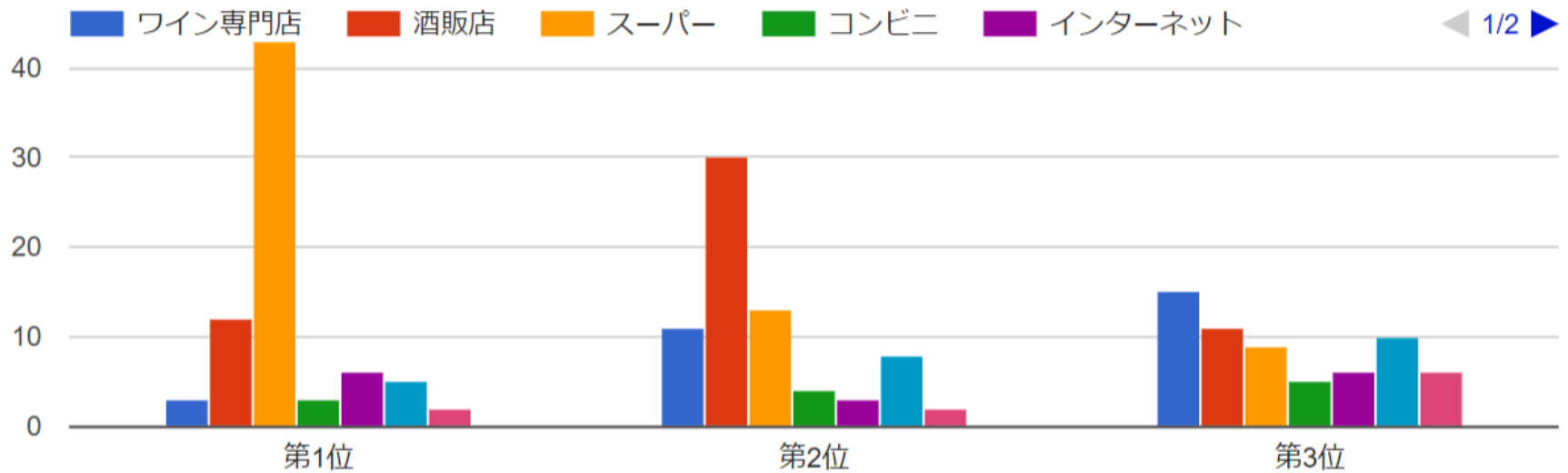
国税庁調査と同様の傾向

1000円以下29.7%と最も多く、購入額は2000円以下で9割を超える。

加重平均 1569円



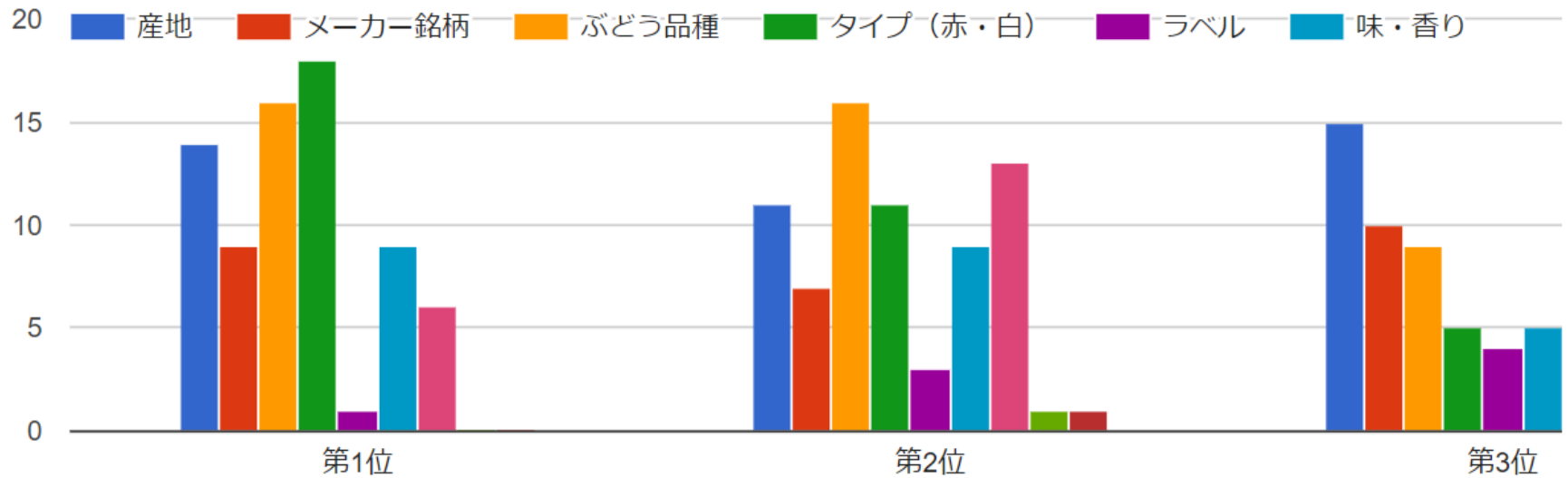
Q3 主にどこでワインを購入されますか？



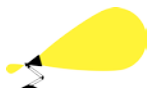
国税庁調査ではワイン専門店が**31.6%**、スーパー**13.9%**と違いが出ている。
地方都市には専門店が少なく、大手スーパー等での購入が多くなる傾向。



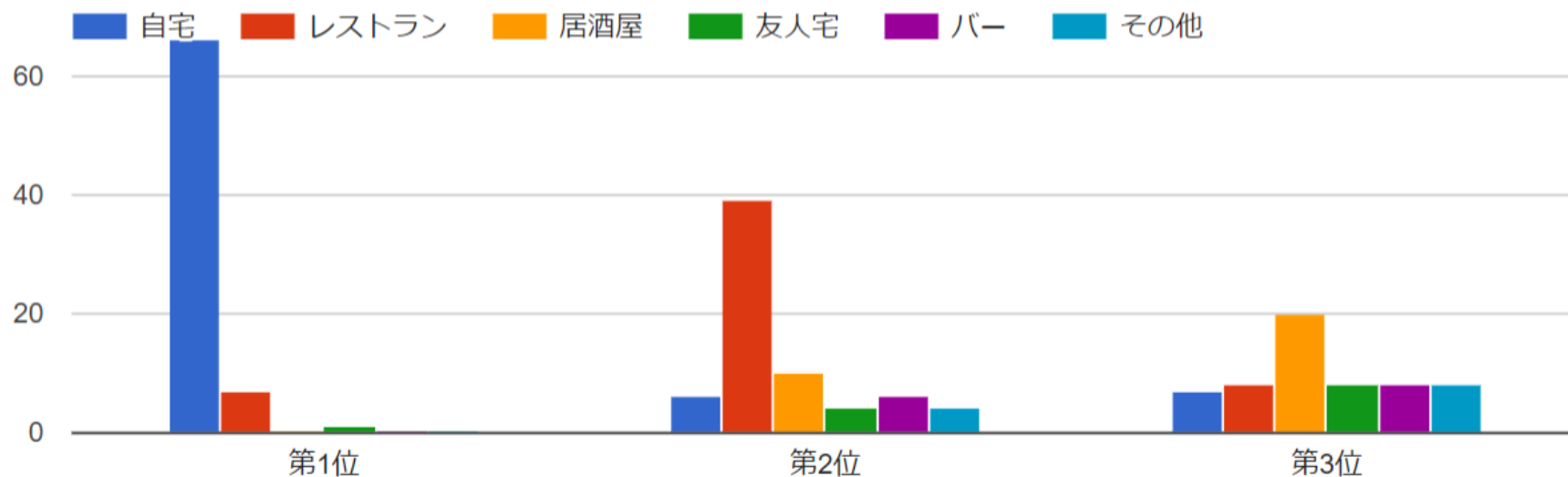
Q4 ワインを選ぶ際、最も重視する点はどのようなものですか？



赤か白かのタイプを最も重視している。(わかりやすいため?)
次にぶどう品種、産地を重視しているのは上級者であろうか。



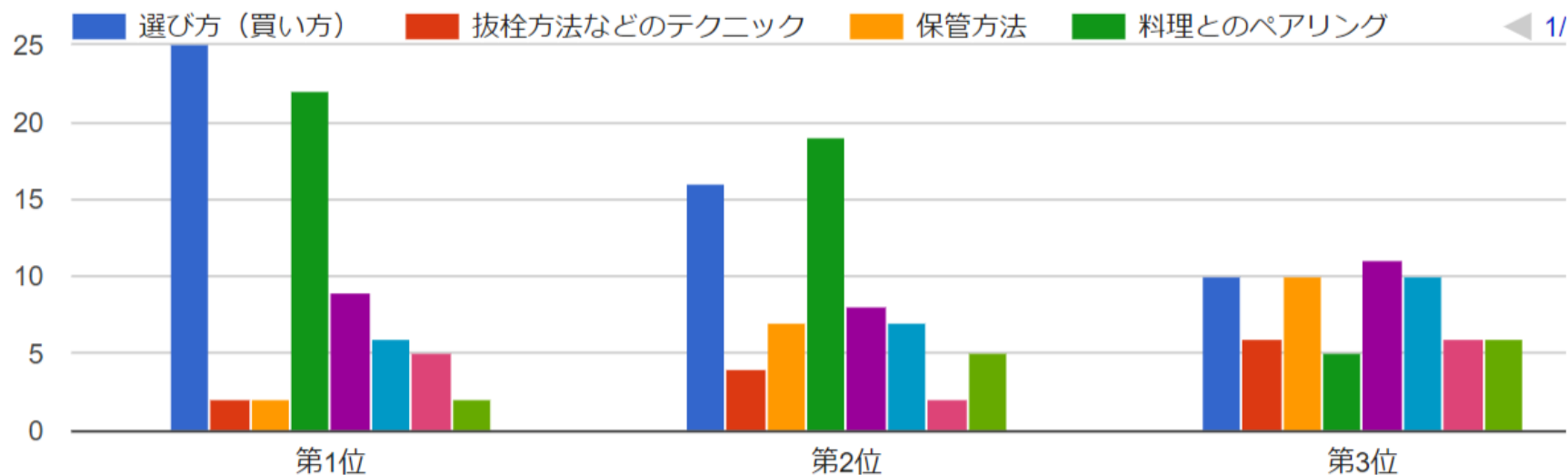
Q5 ワインをどこで飲みますか？



国税庁調査でも自宅**46.7%**と最も多いが、レストランも**29.5%**と多い。
居酒屋形態ではワインをあまり飲まない傾向にある。



Q6 ワインについて何にご興味がありますか？

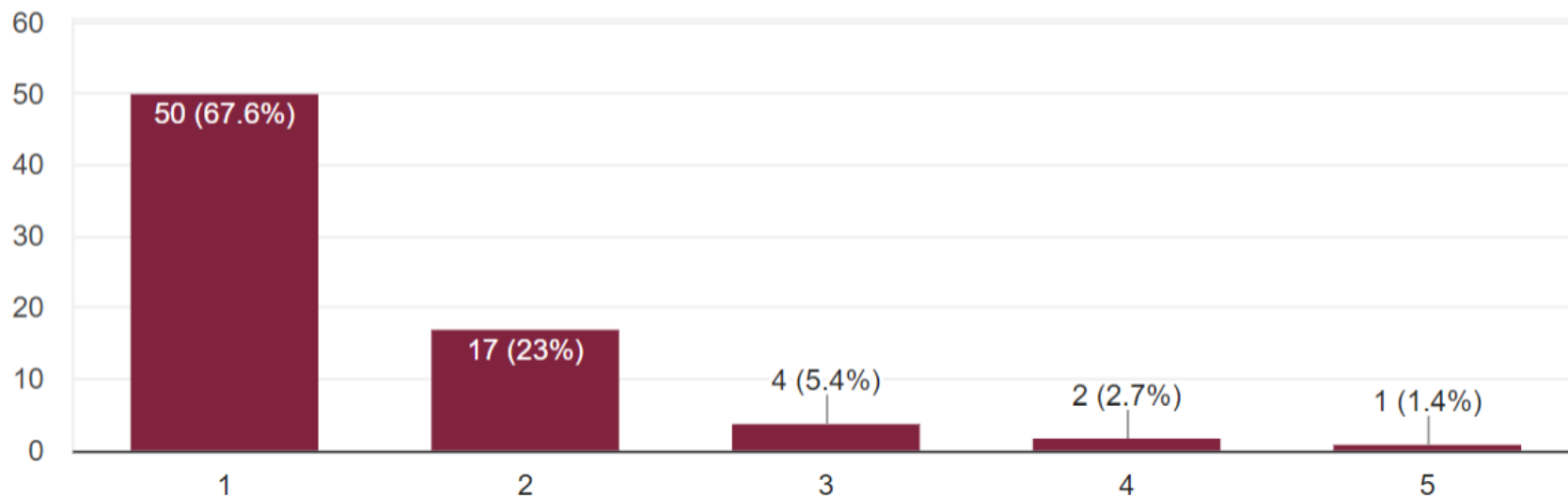


選び方、料理との合わせ方に対するの興味が高い反面、抜栓や保管方法などのテクニカルな面への関心は低い。



Q7 地元のワイン（塩尻ワイン、日本ワイン）についてご興味がありますか？

74 件の回答

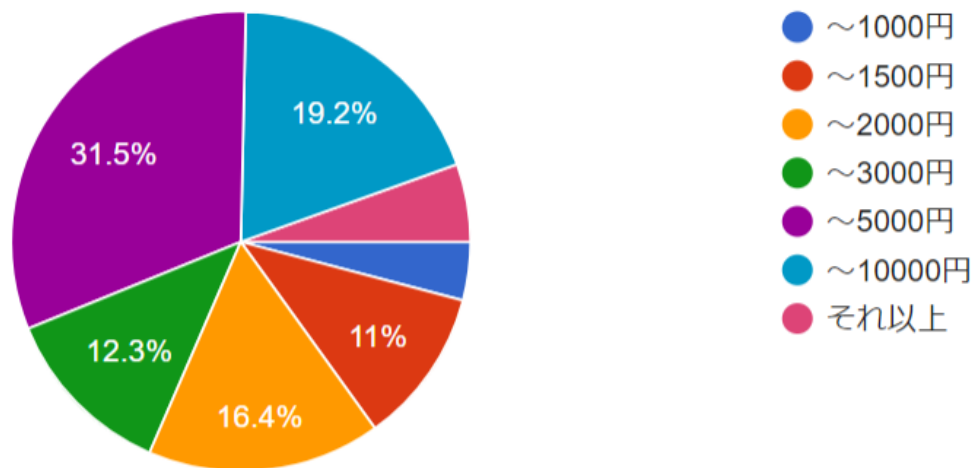


総じて地元ワインへの関心は高い。



Q8 ワインに詳しくなったら、どれくらいの価格帯までなら購入しようと思いますか？

73件の回答



現在の購入価格との差が激しい。現在は2000円以下が8割であったが、詳しくなったら2000円以下は3割と大きく減少する。

5000円までのワインなら購入したいという層が3割も存在する。

加重平均 4398円



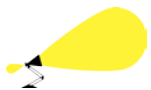
自由回答

- いろんなワインを少しずつ飲んでみたいです。
- 美味しい、価値のあるワインというのが何かが分かっていない
- 特に日本ワインは、ワイナリーが林立して個性をつかみ取ることができません。違いを判るにはどうすれば良いのでしょうか？
- ボトルを買っても適切な時期に飲みきれない
- アルコール度数が高く、翌日に残りやすいのでたくさんは飲めないこと。
- お客様にどうやって、国産ワインの魅力を伝えるか、ぜひ勉強したいです。
- 他の酒類に比べ選択肢が多すぎるため、購入を断念することが間々あります。
- 普段、自宅では酸化防止剤無添加を好んで飲んでいますが、実際、酸化防止剤の影響ってどうなのでしょう？ 二日酔いになりやすいとか？
- ワイン関係者ですが、日本ワインはかけ率が悪くて小売店やレストランにとって売りづらい。小売店が取り扱いを渋るので売りたい、買いたいと市場が成り立つように見えて、誰もが幸せでない。もちろん全てではないが、マイクロワイナリーの価格への意識は改善すべき部分があると思っっている



自由回答

- 違いがわからない 甘いかどうかくらいかな、わかるのは(笑)
- 良いワインを購入した際、開けるタイミングがなかなか無く、自宅に死蔵してしまいがち。残れば残るほどチャンスを逃してしまう。
- 他の酒類に比べて嗜好の拘りが強く、知識が増えるにつれて気軽に楽しむ事が出来なくなる（蘊蓄ばかりの場になりがち）。
- あまり美味しいワインを日本で飲めない。(現地だと選択肢が豊富)
- 日本ワイン飲みたいが値段が高い、フランスワインの方がおいしくて安価
- 日本のワインはコストパフォーマンスが劣ると思います。
- 1000円～1500円のワインなら外国産を選びます。
- 塩尻産も結構高いので、地元ならではのメリットがあったらよいと思います。
- 日本在住の外国の方に日本のワインは美味しくないといわれた事です。悲しかった。



詳しくなれば ワイン消費は3倍！

1500円以下のワインをスーパーで購入し、自宅で週に1回はワインを飲む。

ワインの選び方と料理との合わせ方に興味がある。

ワインに詳しくなれたら4500円くらいまでならワインを購入したい。

現在
1569円



選び方
料理との合わせ方

3倍！



少し詳しくなったら
4398円



もっとワインに 親しんでもらうためには？

- **自分で好みのワインを選べる知識が必要**

普段スーパーで購入しているため、アドバイスしてくれる人がいない
→ラベルの読み方、ブドウ種類、産地など選ぶ基準を身につけてもらう
講座などを開催

- お料理との合わせ方を教える
→基本的な合わせ方を教える
 ワイン会などで実際に体験してもらう
- テクニックにはあまり関心がない

まずは市民が自分でワインを選択できるスキルを身につけてもらうことが必要。

基礎知識が持てればワイン消費は大きく伸ばすことが可能である。

